

いいね！カウンター

ボタンを押すとカウントアップ
いいねー♪と効果音が鳴る



取扱説明書

2022年9月3日 暫定版



〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1

電話：(088) 843-1601 携帯：090-3041-6033

WebSite: <https://shikokudenshokukogei.jp/> E-Mail: info@shikokudenshokukogei.jp

ご利用のお客様へ（かならずお読みください）

弊社の機材レンタルサービスは、この取扱説明書を読み注意・約束を守ってご利用頂ける方を対象にしております。多機能なマシンを利用するには多少の知識が必要です。この説明書には初めての方でも、簡単に利用できるように例を示して書いておりますので最後まで目を通してからご利用ください。

先ず機材を受け取られましたら、同梱の「機材チェックシート」を用いて、機材の数量、状態を確認してからご利用ください。また、利用後も同様に確認したのちにご発送ください。不具合や破損などを確認した場合は、その旨をお知らせください。

精密機械なので、落としたり、乱暴に扱うと故障します。また、取扱説明書（以下、本書）の手順にない使い方をすると、予期せぬ不具合も起こり得ます。更に、本書と異なる使い方トラブルが発生した場合はサポートにも限界がありますし、常時サポート可能な体制も取っていないので、急なご連絡では対応を致しかねます。そこで事前に余裕を持ってテストして頂き、本書通りの操作で機械の取り扱いに慣れておいてください。

<注意事項>

- ◆ 本書の一部または全部を無断転載することは禁じています。
- ◆ 本製品は機能追加、並びに品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。継続的にご利用いただく場合でも、必ず本書の最新版をお読みください。
- ◆ 本書につきましては万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、内容の記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご一報ください。
- ◆ 弊社では、本書の内容に従った利用で起こり得る様々なケースを想定して、事前確認を行っています。また、商品発送前にも機器の動作確認をし、お客様のお手元に商品が届いた後のテスト中に不具合があった場合に備え、商品の交換体制もできるかぎり整えています（但し近県のみ）。そのため、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、如何なる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。同様に、本製品の故障などにより人身事故・火災事故・社会的損失などが生じても、弊社は如何なる責任も負いかねます。

はじめに

この度は弊社の「早押し判定器」をご利用いただき、誠にありがとうございます。製品の性能をフルに活用していただく為にも、必ず最後までこの取扱説明書（以下、本書）をお読みください。

■安全にご利用いただくために！

突風が吹く、子供が周囲を走るなど表示器の転倒が予想されるシーンでは、転倒防止対策を施してください。配線に足を引っ掛けて転ぶことが無いように、人の動きを予測して配線ルートの工夫やテープ（養生テープ）などを使って固定してください。ただし、紙テープ（クラフトテープ）の使用は粘着剤で汚くなるので使用しないでください。屋外など風の影響を受ける場所では、スタンドの利用をやめ長机への配置やスタンドを柱などに固定するなど万が一に備えてください。

テレビ番組のようにスムーズな進行を行うためには、機器の機能を十分に理解して、司会者を含めリハーサルを行い本番のイメージをすることが大切です。特に参加者は思いもかけない行動をとるのでスタッフは事前の説明だけでなく本番中も注意を払ってください。

<使用上のご注意>

- 取扱説明書（以下、本書）に従い、正しくやさしく操作してください。
- 本書を読まずに、安易に弊社に電話で問い合わせるのはお控えください。
- 機能を理解しないで操作すると、想定外の事態に慌てるとイベントを台無しにし兼ねません。基本に則り、本書をご一読ください。
- 商品は精密機械ゆえ、落とせば故障します。乱暴に取り扱わないでください。
- 本書の手順にない接続をすると、故障の原因になることもあります。
- 本機は防水・防滴仕様ではありません。屋外や水濡れの可能性がある場所では、対策を施してください。
- 本機は、精密な電子部品を多数実装しています。本機の移動および運搬時には、衝撃が加わらないように注意して下さい。
- 本機の設置場所は、直射日光の当たる場所や高温になりやすい場所を避け、なるべく日陰で通気性の良い場所でご使用ください。やむを得ず使用する場合は、熱反射シート等を利用して対策してください。
- 定格電圧は、AC100V、50/60Hz、100W 未満です。
- 電圧の安定しない発電機でのご利用はお控えください。
- 電源の詳細は、「大切な電源について」の項を参考にしてください。
- 電源コードは、機材への挟み込みやなど無理な力が加わらないよう、また発熱体への接触などにご注意ください。
- 異常音や臭いが発生した際はすぐに利用を中止し、電源コードをコンセントから抜いて、至急弊社にご連絡ください。
- 長時間利用しない場合は、電源を切り、電源コードもコンセントから抜いてください。
- 故障と感電事故を防止や、性能を維持するためにも、絶対にケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理・改良が必要なときには、事前に弊社に許可を得てください。

大切な電源について

- 電源には家庭等で使われる「一般電源」をはじめ、会館など施設の照明電源として用いている「調光電源」のほか、祭りなど仮設会場で使われる「発電機による電源」など、いくつかの種類があります。
- 「一般電源」以外でも、調節により 100V、50Hz/ 60Hz を供給することができます。ただし、タコ足配線や長いコードで接続すると本来の電圧が得られなくなり、機器が正常に動作しない場合や、配線の発熱に至る場合があります。
- 電線には抵抗があるので、負荷（機器）を接続して電流を流すと電圧を降下が生じます。実際の電圧は、負荷を接続した状態で測る必要があります。テスターでコンセントの電圧を測定し 100V（無負荷電圧）を示していても、電球を点灯させたりすると、電線の抵抗により機器側では電圧は降下します。それを防ぐには、流す電流は少なくして短く太く、更に接続箇所を少なくする必要があります。
- 例えば、イベント等で電気ドラム（コード 30m）を 3本直列につないで 90mにし、機器を接続してみたら動作しない場合です。負荷（消費電力）が小さい機器なら、殆ど問題はありません。しかしホットプレートなど、消費電力が大きい機器と一緒に使用すると、元が 100V であっても 90m離れた場所では 80V 以下となることがあります。30mの電気ドラムを 3本つないだ場合も同様になると考えられ、目的の機器を正常に利用できる保障はありません。



- 特に古い発電機の中には電圧変動が大きなものや、ノイズが加わり正常の動作しない場合もあります。
- 会館の壁のコンセントは「一般電源」ですが、照明を明暗させるための調光電源では、100%フルで送っても波形が乱れた電源（電圧が変動する電源）しか供給できないものもあります。壁から直接とる電源ではない場合は、念のため会館職員に「パソコンなどを使っても大丈夫か？」と確認を取ってから利用することをお勧めします。
- 以上のように、電子機器には正しい電気を送るよう、細心の注意が求められます。

※安全にイベントが開催できることを、スタッフ一同願っております。 四国電飾工芸

機材の内訳

| 品名 | 画像 | 数量 |
|----------------------------------|--|-----|
| ●表示器（最大値 199 表示） |  | 1 台 |
| ●AC アタブタ（5A）＋コード |  | 1 台 |
| ●表示器スタンド |  | 1 本 |
| ●信号変換コード |  | 1 本 |
| ●信号線 10m（mic コード） |  | 2 本 |
| ●操作卓 |  | 1 台 |
| ●効果音装置 |  | 1 台 |
| ●AC アタブタ、D-Sub コード、 押しボタンスイッチ |  | 一式 |
| ●マニュアルほか |  | |

接続図

【重要】

全ての接続を終えてから「電源を投入」してください。

片付けや配線変更の際は「電源を切った後」に作業を行ってください。



- ① 操作卓と効果音装置を D-Sub コードで接続する
- ② 操作卓へ押しボタンスイッチを「1」側に接続する
- ③ 必要に応じて延長コードを利用する

- ④ スタンドを組み立て、表示器をのせる（下記説明を参考に）

- ⑤ 操作卓と表示器を信号線+信号変換コードで接続する
- ⑥ 効果音装置とミキサーをマイクコードで接続する

- ⑦ 表示器へ AC アダプタ（DC12V5A）を接続して電源を供給する
- ⑧ 操作卓と効果音装置へ AC アダプタ（DC12V2A）を接続して電源を供給する



↑ 信号変換コード



(表示器へ変換コードを使用して接続)



(効果音出力 ミキサーへ接続)
2番 HOT / 1番 GND

スタンドの組立手順

| | | |
|---|---|--|
| <p>① スタンド</p>  | <p>1本のみお届け</p>  | <p>表示器用サイズ (大)</p>  |
| <p>② ロックピン</p>  | <p>③ アームの上部</p>  | <p>③ 本体の底面</p>  |
| <p>④アームを差し込む</p>  | <p>⑤ 完成</p>  | |
| <p>※支柱を伸ばし過ぎると不安定になるので転倒防止に配慮してください。 ※伸ばしたあとに、本体をのせてください。</p> | | |

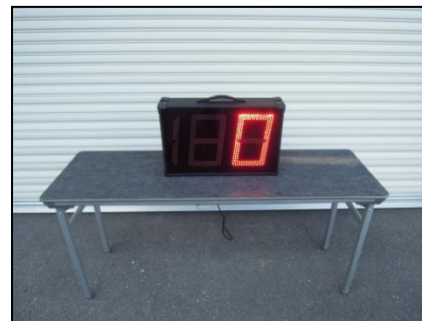
スタンド設置に関する注意事項

※危険回避！

表示器は、周囲の状況を考慮しスタンドの高さや設置方法を決めてください。また、風の影響を受けるような場所では、ウエイトやゴム紐等を利用し転倒しないような対策を施してください。画像にあるような長机の上に配置することも一つの方法です。



強風下ではブロック等を利用する



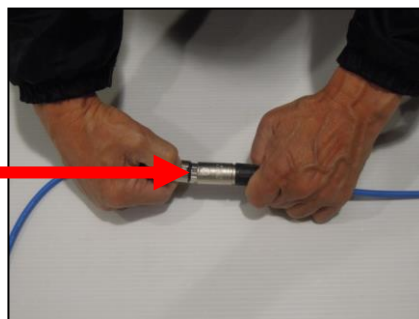
長机へ載せた表示機

コネクタの接続方法

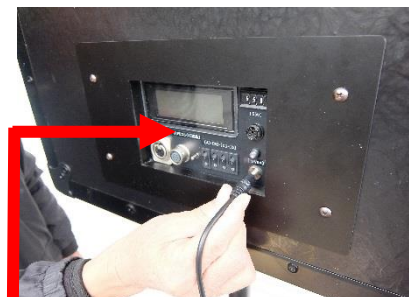
コードをもって抜き差ししないでください。



<ケーブルを接続>



<ロックピンを押しながら外す>
金具ピンを押しながらプラグを抜く



<電源コードの接続>
本体を持って差し込む



<電源コードを外す>
本体を持って抜く

表示器パネルの説明



※設定等スイッチの操作は必要ありません

【C】－ [液晶調整] コントラスト調整

【E】－ [電源入力] ACアダプタを接続 12V5A

【G】－ [信号] 操作卓からの信号線を接続する

明るさをコントロールすることは出来ません

パネル

●操作卓



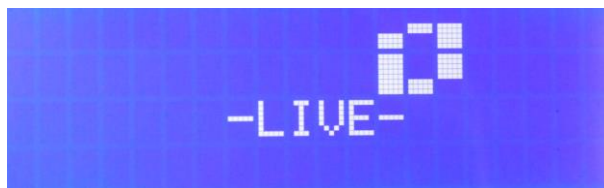
● 効果音装置



音出力

操作方法

- ① 操作卓の操作は、「スイッチ（点灯／消灯）」、「リセットボタン」のみ
- ② 効果音装置の操作は、「モニター用音量調整」、「消音ボタン」のみ
- ③ 表示器の操作や設定は特にございません。
- ④ 操作卓の「スイッチ（点灯／消灯）」を点灯側にして、押しボタンを押すとカウントアップします。カウント値は操作卓液晶パネルでも確認できます。ボタンを押した瞬間に効果音が鳴ります。途中で効果音を止めたい場合は、効果音装置の「消音ボタン」を押します。



（点灯時の画面）

- ⑤ スイッチを消灯側にすると、表示器の表示が消えます。カウント値は保持。



（消灯時の画面）

- ⑥ カウントを初期化するには、操作卓の「リセットボタン」を長押ししてください。| ***** | → reset ok と表示ができれば初期化は完了です。



(..)φメモメモ

- 効果音装置の[1]を押すと〇〇が鳴ります。
- ボタンを連打すると効果音をその都度、最初から再生されます。
- ボタンの受け付けは、短い待ち時間（ディレイ）を設定しています。
- ボタンを押し続けてもカウントは増えません。
- 効果音装置の音量つまみは、装置のモニター用で外部ライン出力は固定で調節はできません。ミキサー側で調節を行ってください。
- 表示範囲は、3桁の場合は最大「199」実際にカウントを続けているので数値は変化します。リミットではありませんのでご注意ください。
- 表示はゼロサプレス有効 上位のゼロは消灯
- スタート値はゼロ。消灯スイッチで消すこともできます。
- 液晶画面が見えにくい場合は、本体側面の液晶調整を調整してください。
- 電源を落とすとカウントデータは初期化されます。
- 効果音データ モノラル WAV、MP3

今後の・・・

(..)φメモメモ

いいね！とダメー！ 効果音とアップダウン機能

データを記憶させる 記憶値からの継続

任意値からカウント

カウントのリミット設定

リミット値で効果音

下限値で効果音

4桁表示器にも対応

昭光型ゲームスイッチを利用するし押したらランプを点灯させる